

日本体育大学

令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科 学校推薦型選抜 スポーツマネジメント推薦
科目	小論文

【出題の意図】

- ・ マネジメント活動を自身の経験に基づいて説明できるか。
- ・ 参加または応援を促進するための工夫を論理的に説明できるか。
- ・ 成果だけでなく、課題について適切に分析できるか。
- ・ 今後のより効果的なマネジメント方法について提案できるか。

【模範解答】

私がこれまでに行ったマネジメント活動の中で、「より多くの人に参加・応援してもらうために工夫した経験」として、高校2年生のときに体育祭実行委員長として取り組んだ活動がある。当時、体育祭にあまり積極的ではない生徒も多く、「参加したくない」「運動ができる人たちに任せる」といった声があった。実際、前年の体育祭では積極的に参加する生徒とそうでない生徒で二極化していた。そこで、生徒全員が参加しやすく、自分のクラスを応援したくなるような雰囲気づくりを目指して、いくつかの工夫を行った。

その取り組みの一つとして、私が考案したのは「一人ひとりが役割を持てる仕組みづくり」である。運動が得意な人だけが活躍する体育祭ではなく、得意・不得意に関係なく参加できる体育祭を実現したかった。そこで、競技参加者だけでなく、応援旗のデザイン係、進行サポート係、写真撮影係など、多様な役割を設定し、前年よりも役割を増やすことで、全員が何らかの形で参加できる体制を整えた。この工夫により、運動が苦手な生徒も「自分が体育祭に貢献している」と感じられる環境をつくることができた。

その結果、当日は学年全体の一体感が生まれ、応援も競技も非常に活発になった。普段あまり体育の授業が得意でない生徒からも「クラス一丸となれた」「役割があったから参加しやすかった」という声をもらった。

一方で、役割を増やしたことで係が多様化し、タスクが複雑になった結果、作業の進行状況が把握しづらくなり、他の係と連携して進めるタスクにおいて時間がかかってしまうという課題も残った。

今後の改善点としては、早い段階でタスクを一覧化し、役割と進行状況を全員で共有できる仕組みを整える必要がある。このような情報共有ができれば、タスクが少ない係が他の係を補完することもでき、一人ひとりがさらに自分事として体育祭に関わり、一体感の強化にもつながると考える。